

令和4年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	穂の国とよはし芸術劇場
所在地	豊橋市西小田原町123番地
指定管理者	公益財団法人豊橋文化振興財団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
担当課	文化・スポーツ部「文化のまち」づくり課(0532-51-2873)
令和3年度指定管理料(決算)	64,591千円
令和4年度指定管理料(決算見込)	66,351千円

項目	基準	評価																																														
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。 維持管理業務は特別目的会社が行っている。																																														
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。 令和4年度は計画した事業のうち一つの公演が中止となったが、国の補正予算の補助金を活用しながら舞台芸術の鑑賞機会を創出するとともに、若手音楽家育成事業などの舞台芸術人材育成事業などを実施している。																																														
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。 事業計画書のとおり適切に人員配置がなされており、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。																																														
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。 事業計画書に基づき定期的に研修が実施されている。																																														
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。 協定書等の個人情報保護規定、公益財団法人豊橋文化振興財団個人情報保護規定に基づき適正に管理されている。																																														
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。 マニュアル、非常連絡網が整備され、定期的に避難訓練等も実施されていることから、十分な取り組みがなされている。																																														
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。 利用者の決定は、規則・要綱に則り適正に行われている。																																														
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して令和3・4年度を比較)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>比較(R4-R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日数</td> <td>308日</td> <td>349日</td> <td>349日</td> <td>0日</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>a. 主ホール</td> <td>32,720人</td> <td>58,115人</td> <td>75,836人</td> <td>17,721人</td> </tr> <tr> <td>b. アートスペース</td> <td>11,950人</td> <td>22,200人</td> <td>27,237人</td> <td>5,037人</td> </tr> <tr> <td>c. 創造活動室</td> <td>9,374人</td> <td>11,809人</td> <td>15,470人</td> <td>3,661人</td> </tr> <tr> <td>d. 研修室</td> <td>5,594人</td> <td>8,641人</td> <td>8,693人</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>e. 交流スペース</td> <td>19,069人</td> <td>23,033人</td> <td>28,620人</td> <td>5,587人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>78,707人</td> <td>123,798人</td> <td>155,856人</td> <td>32,058人</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	比較(R4-R3)	開館日数	308日	349日	349日	0日	利用者数					a. 主ホール	32,720人	58,115人	75,836人	17,721人	b. アートスペース	11,950人	22,200人	27,237人	5,037人	c. 創造活動室	9,374人	11,809人	15,470人	3,661人	d. 研修室	5,594人	8,641人	8,693人	52人	e. 交流スペース	19,069人	23,033人	28,620人	5,587人	計	78,707人	123,798人	155,856人	32,058人
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	比較(R4-R3)																																										
		開館日数	308日	349日	349日	0日																																										
		利用者数																																														
		a. 主ホール	32,720人	58,115人	75,836人	17,721人																																										
		b. アートスペース	11,950人	22,200人	27,237人	5,037人																																										
		c. 創造活動室	9,374人	11,809人	15,470人	3,661人																																										
	d. 研修室	5,594人	8,641人	8,693人	52人																																											
	e. 交流スペース	19,069人	23,033人	28,620人	5,587人																																											
計	78,707人	123,798人	155,856人	32,058人																																												
【要因分析】 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用の中止・延期、自主事業の公演中止などが一部あるとともに全体としては集客率の低下があり、利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響前の令和元年度比では、主ホールで74.5%、アートスペースで80.9%、全体では68%と影響はまだ残っている。令和3年度比では、主ホールで130.5%、アートスペースで122.7%、全体では126%となり、全体としては前年度からは回復傾向だった。																																																
サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやメールマガジン、劇場SNS、劇場広報誌、まちなか図書館トークイベントをはじめとする各種広報活動により、イベント情報の発信、施設PRを効果的に行っている。 ・劇場の特性を活かした自主事業の実施により、利用者サービス、施設の認知度向上に努めている。 ・映像配信用の備品の配備にともない、前年度に引き続き映像配信講座や映像収録講座の実施および、映像配信機材の備品利用者への指導・サポートに努めている。 ・芸術文化に関する高い専門性と豊富な経験、知識を有する職員を配置することで、質の高い舞台芸術公演を実施し、市民の鑑賞体験を蓄積するとともに、市内外からの来場者を増やすことでまちなか活性化にも貢献している。 																																															
利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく) <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の実施 施設運営に関する総合的な感想 満足・やや満足…72.5% 普通…21.7% 不満・やや不満…4.2% わからない…1.6% 概ね満足している。特に施設の快適さ・清潔さ、職員の対応・マナーについては評価が高く、快適に利用できる環境が整えられているが、更に質の高いサービスを提供し、利用者満足度を高めるために、利用者の意見への柔軟な対応、適切な維持管理を継続していく必要がある。																																															

意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容	対応			
		自由席の催事で、通路際の席を好んで座っているのにも関わらず、奥に詰めるよう強く案内されたので、対応の仕方を検討してほしい。	主催公演時に場内案内を委託している業者と案内の方法について検討し、お客様の意思を確認してのご案内を徹底する旨を確認した。			
		サポートや備品が充実しており、とても助かりました。	—			
—	—	—	—			
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	適切かつ迅速に行われている。				
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に実行されている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し、適正に管理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	施設利用状況は回復傾向だが、収支ともに予算より少なくなった。一方で、物価高騰の影響により光熱水費が高騰し、指定管理事業費は予算より多くなった。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	66,351千円	指定管理事業費	127,206千円
			利用料金収入	39,057千円	自主事業費	52,337千円
			支援補助金	12,727千円		
			自主事業収入	40,926千円		
その他収入	511千円					
		収支差額	-19,971千円			
指定管理者の自己評価	<p>穂の国とよはし芸術劇場は、開館10年目を迎え、自主事業や貸館事業により多くの利用者を受け入れる芸術文化交流施設として、演劇、ダンス、音楽を通じて市民の文化的生活を向上させる公共の場を提供することを目的としています。</p> <p>コロナ禍において、利用者及び関係者が安心して施設利用ができるように、本年度も引き続きアルコール消毒液の設置や催事実施時にサーモグラフィカメラの無料貸出のほか、主ホール・アートの楽屋・創造活動室・研修室・楽屋・交流スクエアの机・椅子などに抗菌コートを行うなど感染防止対策にも配慮し、適正な維持管理・運営を行いました。また、公立文化施設協会のガイドライン改訂に応じて、利用者に対して適切に感染防止対策ができるように周知を行うなど、きめ細やかな対応と情報発信に努めました。</p> <p>収支状況については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた貸館利用の回復傾向となり、利用料収入は予算額の95%となりましたが、公演事業における来場者の回復は遅く、自主事業収入が減少しました。円安や原油高にともなう諸物価の高騰や光熱水費の高騰については市からの支援金である程度は補てんされたため、事業は継続することができました。</p> <p>自主事業としては、予定していた事業のうち一つの公演が中止となりましたが、国の補正予算の補助金を活用しながら舞台芸術の鑑賞機会を創出するとともに、東三河高校演劇部支援や若手音楽家育成事業などの舞台芸術人材育成事業などを実施し、東三河市民の芸術文化活動の拠点として安心して市民の方が楽しんでいただける機会を継続することができたものと評価しています。</p>					
総合評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、感染症防止対策の徹底や市の施設利用における要請について利用者に丁寧に周知説明を行う等、安心して来場できる環境づくりに努められ、令和3年度に比べ利用者数は増加した。</p> <p>新たな利用者にリーチする広報として、SNSでの発信強化やまちなか図書館でのトークイベントを実施した。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた催事手法として、映像配信に関する備品の充実を図るだけでなく、映像配信講座や映像収録講座の実施および、映像配信機材の備品利用者への指導・サポートを実施し、利用者の回復にも努めている。</p> <p>コロナ禍という文化活動を行うのが困難な状況のなか、計画していた自主事業の一部が中止となっても、市民に舞台芸術に触れる機会を提供し続けるとともに、商店街と連携した「まちなかこども縁日」の開催でまちなかの賑わいに寄与するなど、芸術文化の振興と市民の交流という劇場本来の役割を果たすとともに、市の目指す中心市街地活性化にも貢献している。</p>					
次年度の対応方針	<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更など、変化する状況に柔軟に対応し、引き続き芸術文化に触れる機会の提供や人材育成事業の拡充を図るとともに、芸術文化を活用した地域連携活動など、より一層「第6次豊橋市総合計画」の実現に寄与するような取り組みを実施し、新規利用者の獲得につなげることを期待する。</p>					